

熊野町のいしぶみとたずねて 第1回

～西尾 平氏の書～

熊野町議会広報委員会歴訪隊が発足！熊野の文化、歴史をたずね知ることを目的に、中原委員長、藤本副委員長の指導の下、若手議員4人が町内の石碑を調査します。



校地記念碑
場所：平谷浄光寺バス停前
建立：大正元年十月
形状：高さ128cm、幅59cm、奥行17cm



梶山先生之碑
場所：神山神社前
建立：明治四十年十月
形状：高さ118cm、幅49cm、奥行21cm



立花氏記念碑
場所：初神老人集会所内
建立：大正元年十二月
形状：高さ120cm、幅53cm、奥行23cm



佐々木森吉之碑
場所：城之堀地内
建立：明治四十年七月以降
形状：高さ114cm、幅45cm、奥行20cm



▲西尾平氏の墓石（中溝地内）

上の4つの石碑は西尾平氏の書によるものです。西尾平氏は、熊野町郷土史研究会の会報によると、「嘉永年間（1848～1853）には十名の職人で一年間で千本、一人当たり百本となかなか軌道に乗りませんでした。西尾平」の出現により大きく変わりました。西尾平は、上方（京都）より熊野に移住して書と筆づくりを教えました。その結果明治元年（1877）には職人80名で15万本、一人当たり1900本と飛躍的に伸びました。」とあります。また、昭和34年発行の筆の町熊野誌によると、「明治十年、東京で開催された内国勸業博覧会には西尾平が自作の毛筆を出品し入賞している。」とあります。書だけでなく、筆づくりにも精通していたことが伺えます。

取材 民法・時光・片川・沖田

議会・委員会活動等紹介

産業建設委員会を開催

6月16日に産業建設委員会を開催した。当日は、全委員及び議長が参加し、建設・水道部による昨年度の主要事業実績報告及び今年度の主要事業実施計画について説明を受けた。

その後、委員から町執行部に対して質問をする形で協議は進められた。



▲産業建設委員会のような

総務厚生委員会を開催

7月4日に総務厚生委員



▲高齢者グループホームを現地視察

会を開催した。

総務・民生部から、昨年度の主要事業実績報告及び今年度の主要事業実施計画について説明を受け、多くの質問が挙げられた。

現地視察では、社会福祉法人成城会の施設を訪問。今春完成した、高齢者グループホームなどについて説明を受けながら意見交換などを行った。

文教委員会を開催

7月6日に文教委員会を開催した。今年度初めての委員会では、教育長によ



▲第二小学校の低学年書道科を現地視察

る教育方針等の説明を受けた。また、第二小学校を実際に訪問し、校長より学校の説明を受け、授業参観では、低学年の書道科などを見学した。後に校長から学

熊野町を視察訪問

■愛媛県松前町議会



▲第1委員会室での視察の様子

6月30日、松前町議会（厚生常任委員会）による視察研修が行われた。介護予防事業における視察で、利用料についてなど、多くの質問を受けた。

■愛知県大口町議会



▲筆の里工房も視察

7月5日、大口町議会（文教厚生常任委員会）による視察研修が行われた。認知症対策事業における視察で、互いの町の情報交換も盛んに行われた。

議会改革特別委員会を開催

6月定例会で設置された、議会改革特別委員会の第1回目が、6月28日に役場第1委員会室にて開催された。第1回の委員会では、大瀬戸委員長が進行の元、委員から自由な意見を出し合う形で委員会は進み、今後行うべく改革項目について協議した。



▲議会改革特別委員会のような

学校教育における要望を伺ったり、意見交換等を行った。

また、今後の日程調整も併せて行われた。